

<指導上のポイント>

この教材は、非常に簡単な教材ですが、使い方によっては非常に高い知能を育て上げることが可能です。

また、この教材は「位置の記憶」と呼ばれていますが、「記憶力」は、「暗記力」ではないことをまず知っておきましょう。

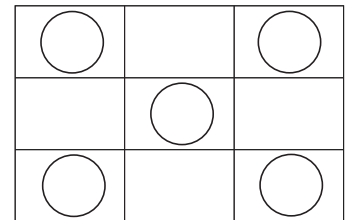
下記の<この教材の使い方>を参考にして、広い視野で全体的に見て、関係把握能力・空間位置把握能力・判断力・数能力などをフル回転させて、問題を捉えるようにするのが、記憶力を高める方法です。そうすれば、暗記したり覚えたりしなくても、全問正解することができるようになります。記憶力は、思考力そのもののなのです。

<この教材の使い方>

○△□などが描かれているプリントを、切り取り線で2つに切り離しておいて、お子様に10秒程度見せます。そして、空白のプリントを渡して捕らえた形を描かせます。

指導の初期は、○△□などの形の名前と数と並び方のみならず、空白の部分の数と並び方を、同時に関係として捉えるように指導します。例えば、1ページの上の問題ならば

「○が五つあって、その並び方は真ん中に○があり、上の段と下の段の左右に○がある。○が×の形に並んでいて、空白の部分はひし形だ」という感じで捉えるように指導します。



次の段階では、まずどのように捉えるつもりかを言わせて、「こんな捉え方もあるよ」などとアドバイスします。

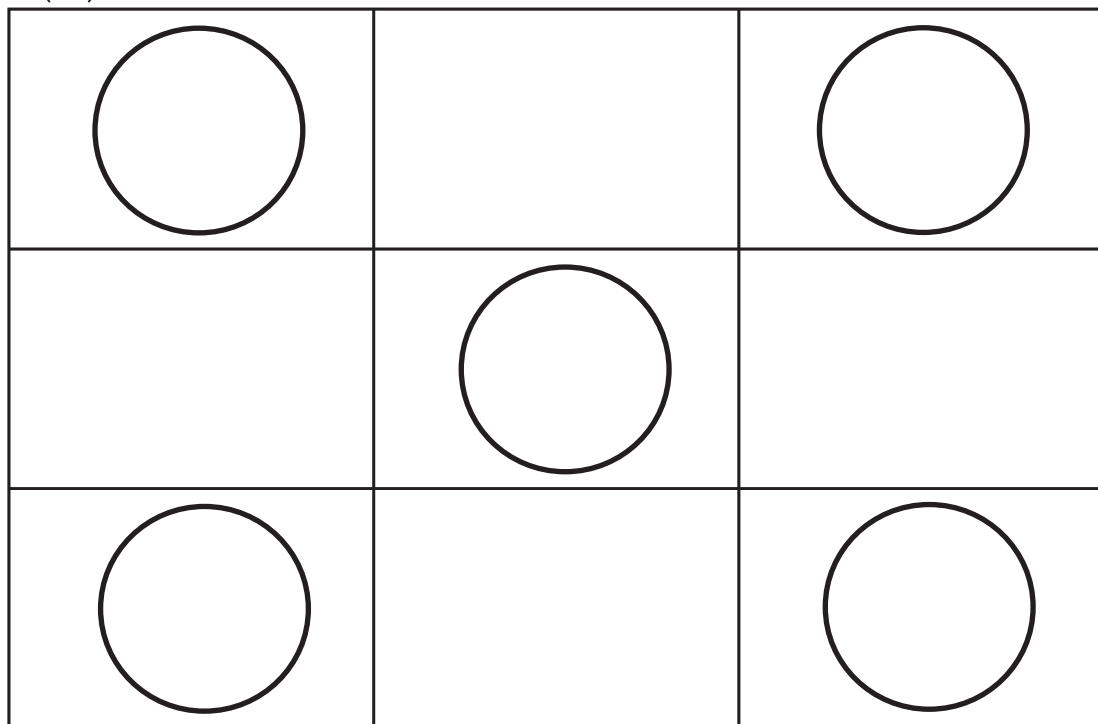
最後の段階では、自分で考えさせて解答させればよいでしょう。

この教材を使うには、「平面位置」「点描写」などができることが前提です。空間位置把握能力が低いと、思考力の育成に支障が出るのです。

○のある場所をよく覚えて下さい。

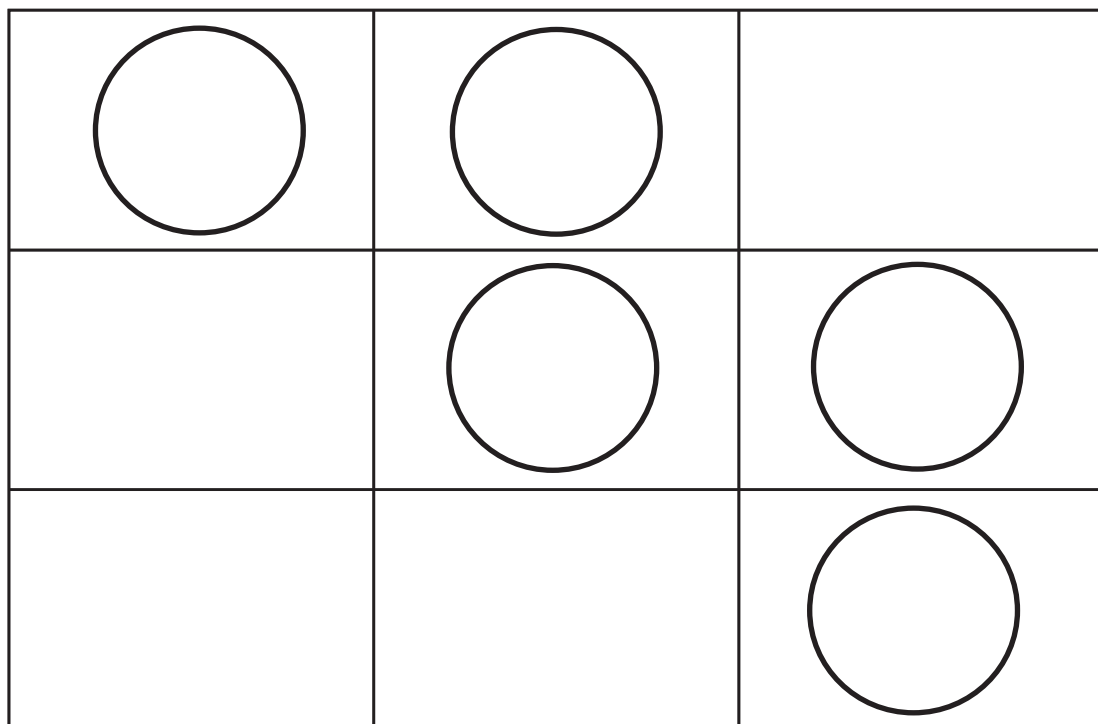
(キリトリセンで2つに切り離して下さい。)

(1)



----- キリトリセン -----

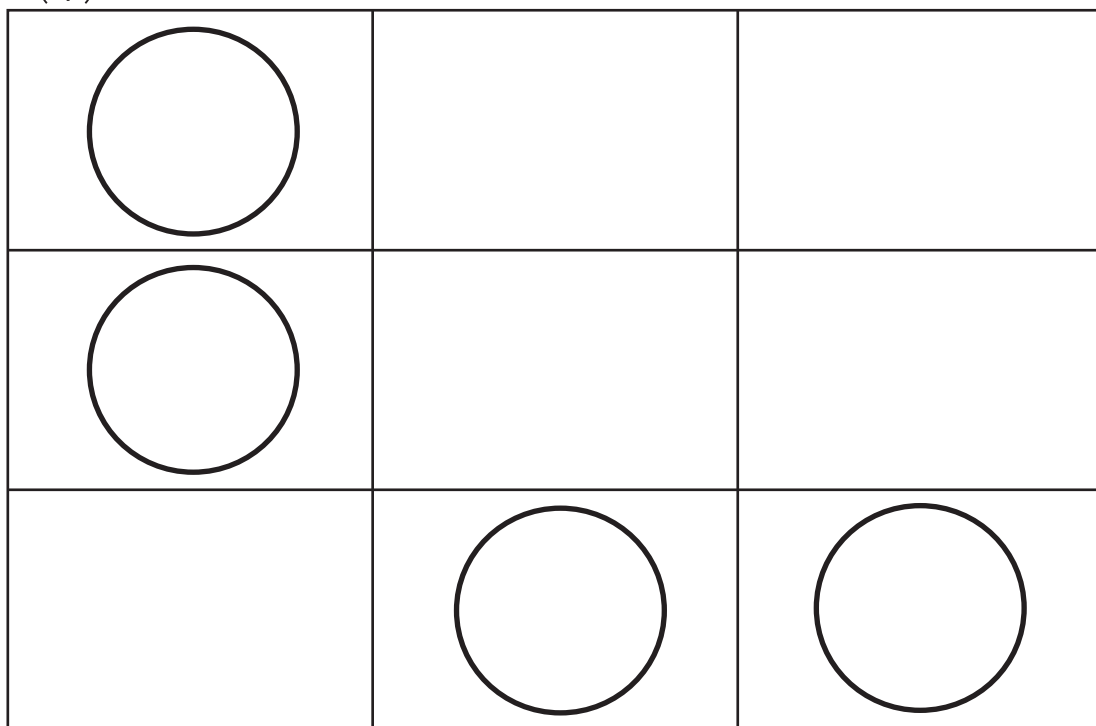
(2)



○のある場所をよく覚えて下さい。

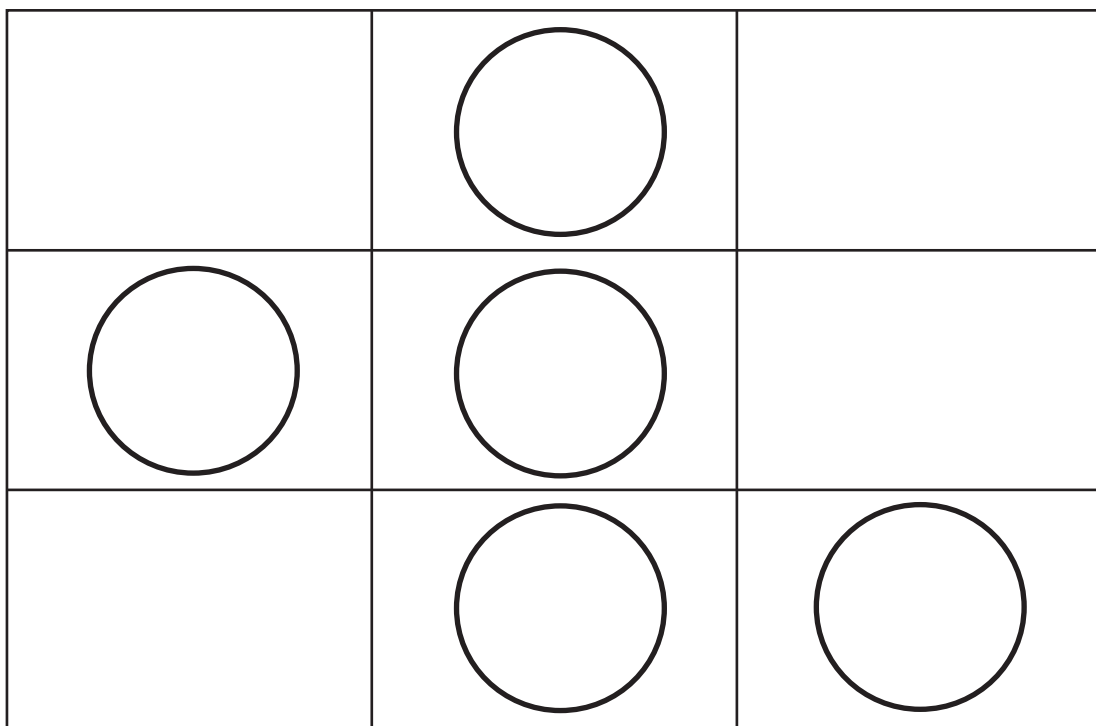
(キリトリセンで2つに切り離して下さい。)

(1)



----- キリトリセン -----

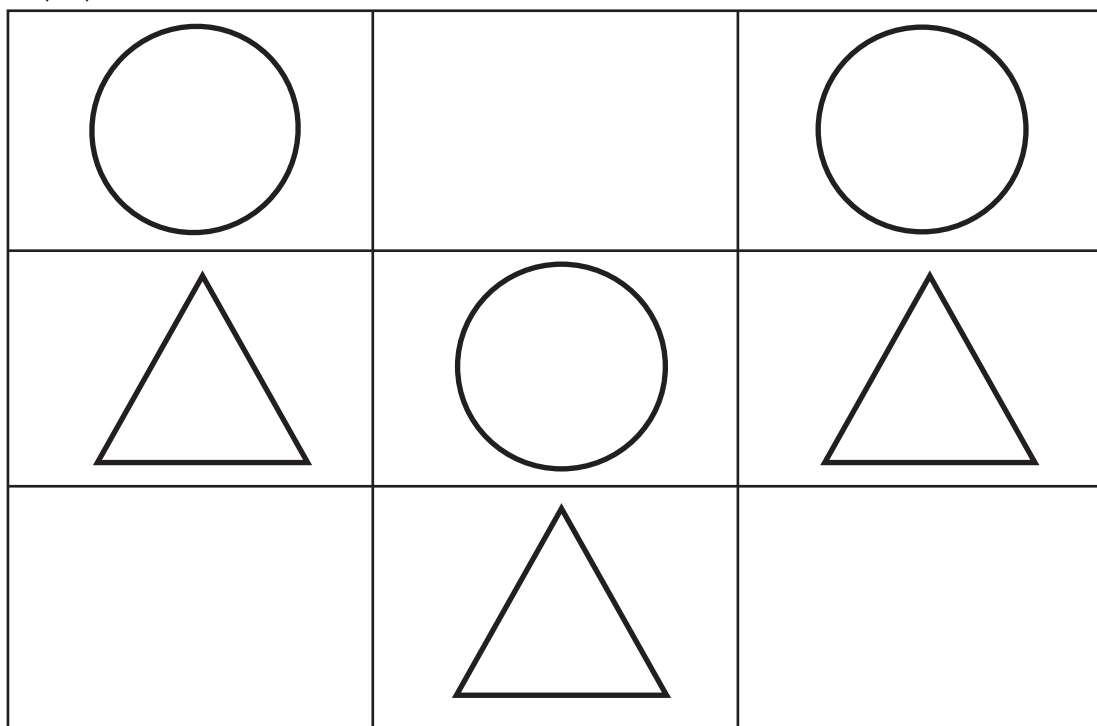
(2)



○と△のある場所をよく覚えて下さい。

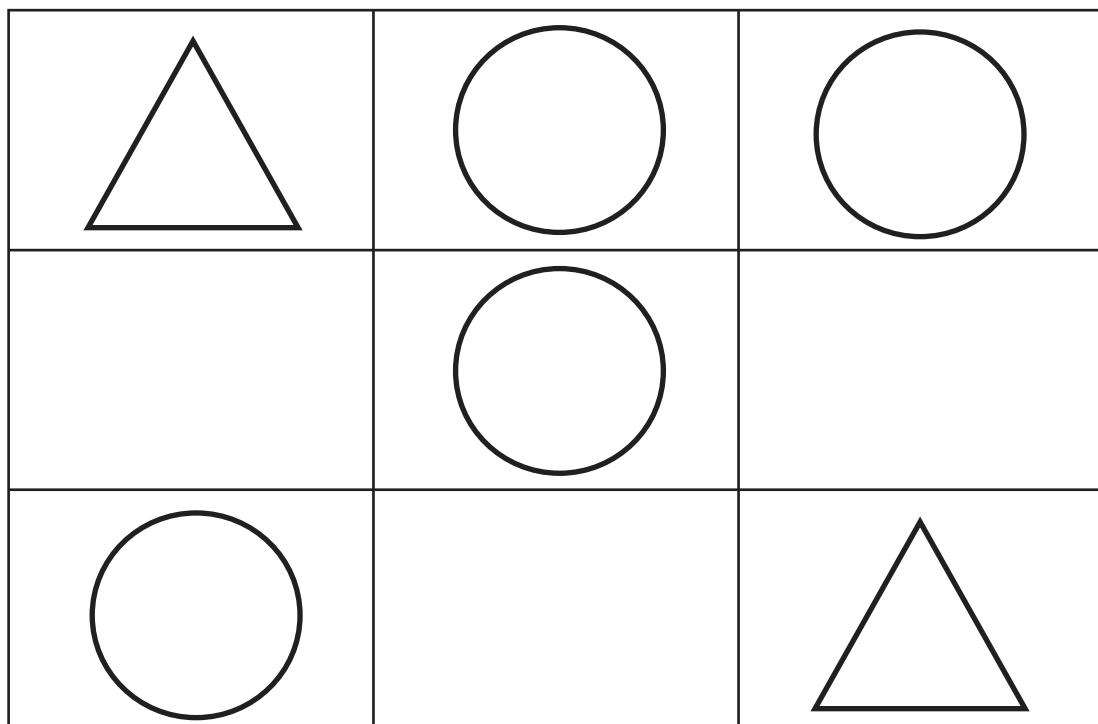
(キリトリセンで2つに切り離して下さい。)

(1)



----- キリトリセン -----

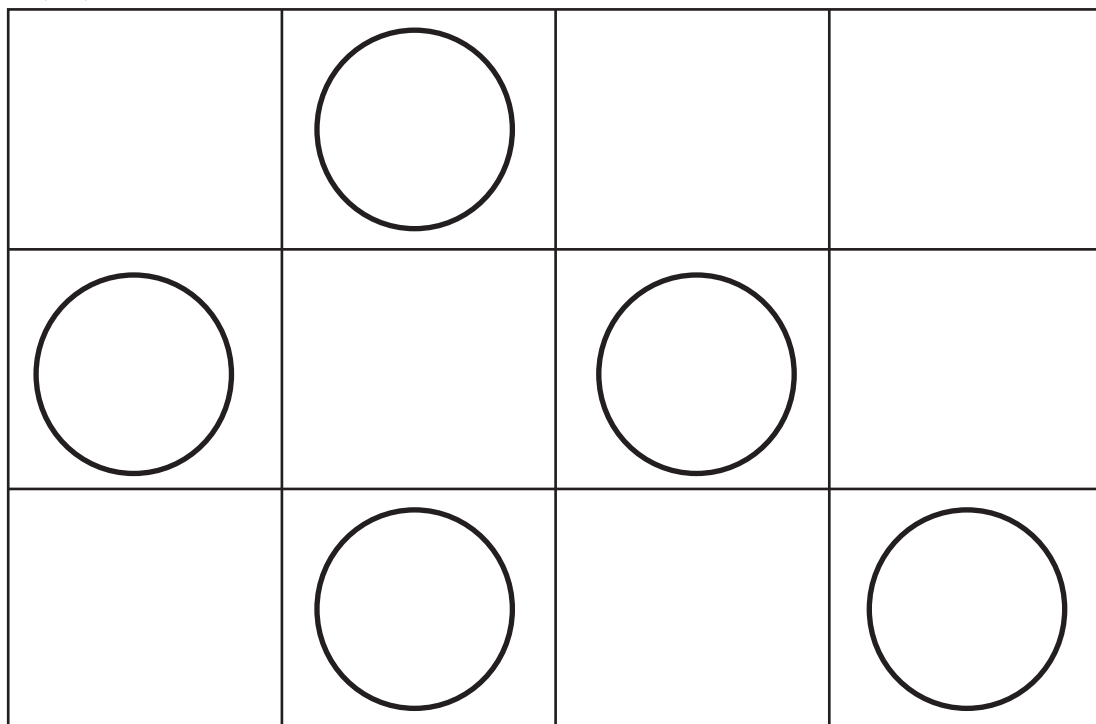
(2)



○のある場所をよく覚えて下さい。

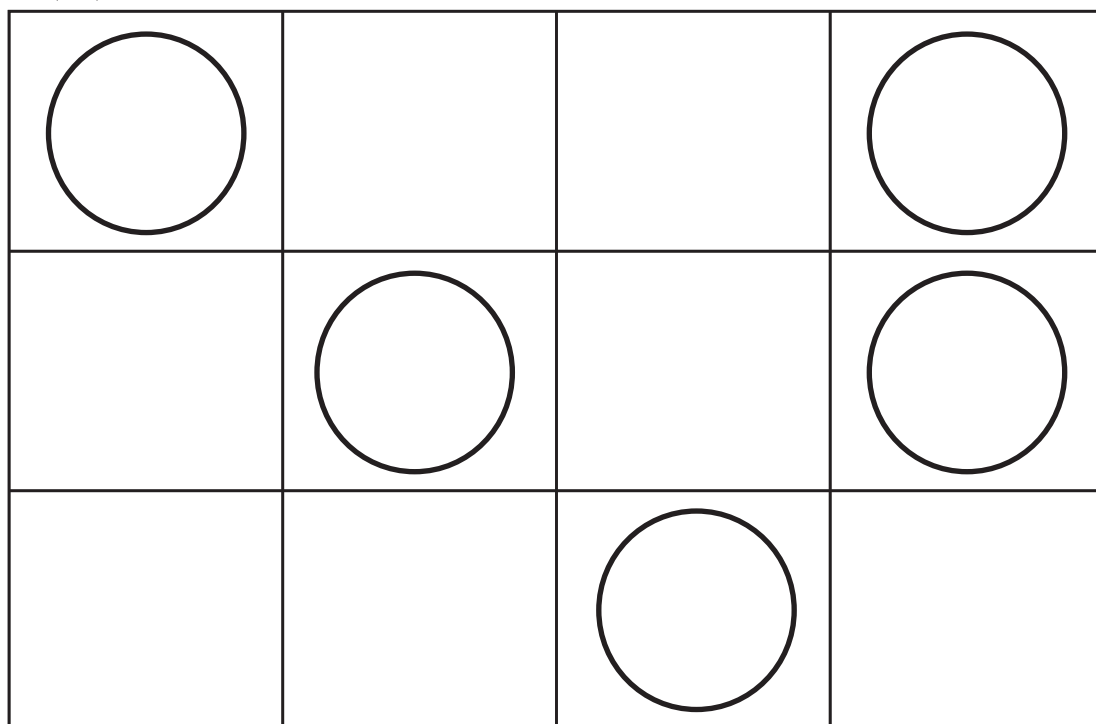
(キリトリセンで2つに切り離して下さい。)

(1)



----- キリトリセン -----

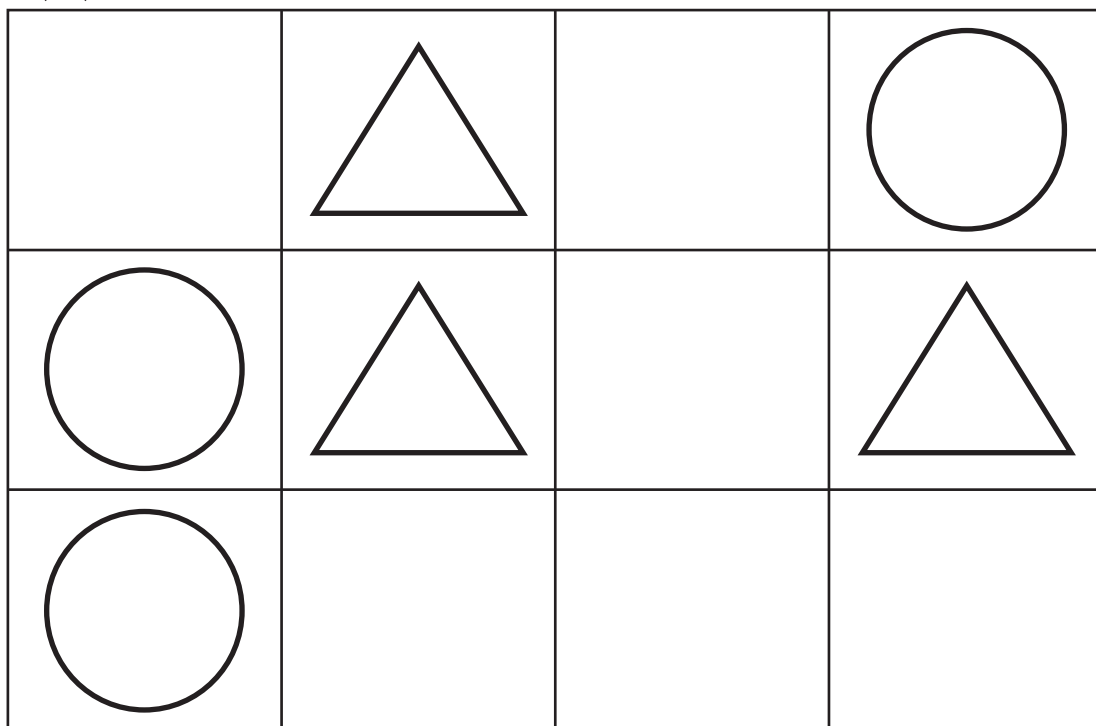
(2)



○と△のある場所をよく覚えて下さい。

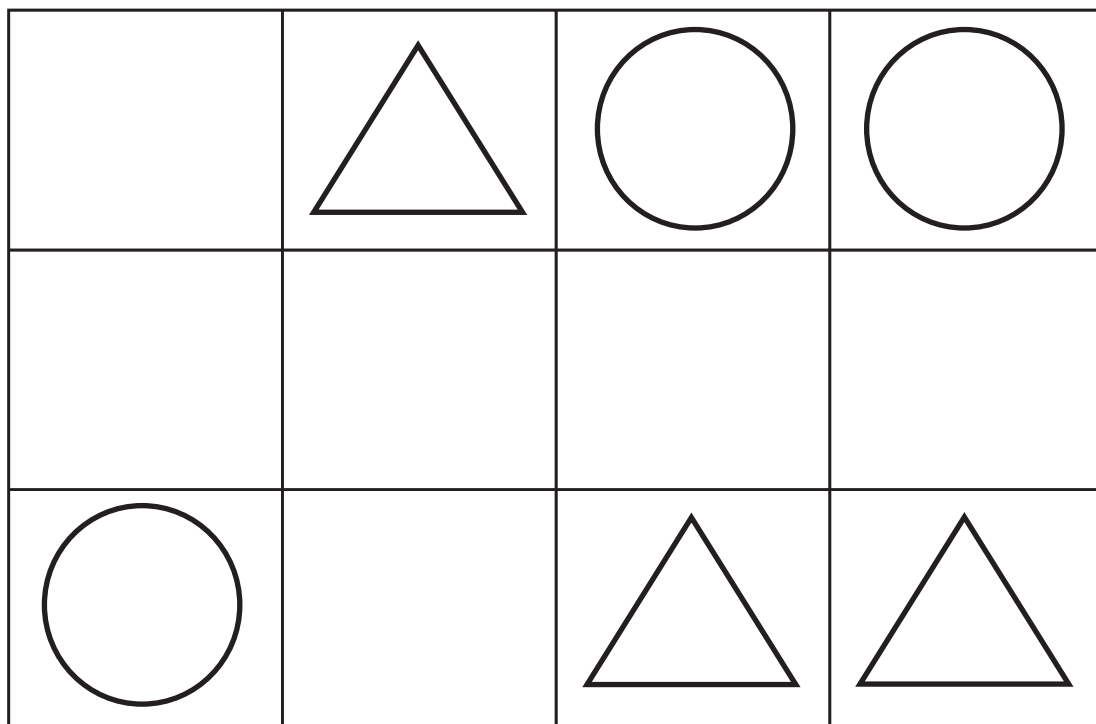
(キリトリセンで2つに切り離して下さい。)

(1)



----- キリトリセン -----

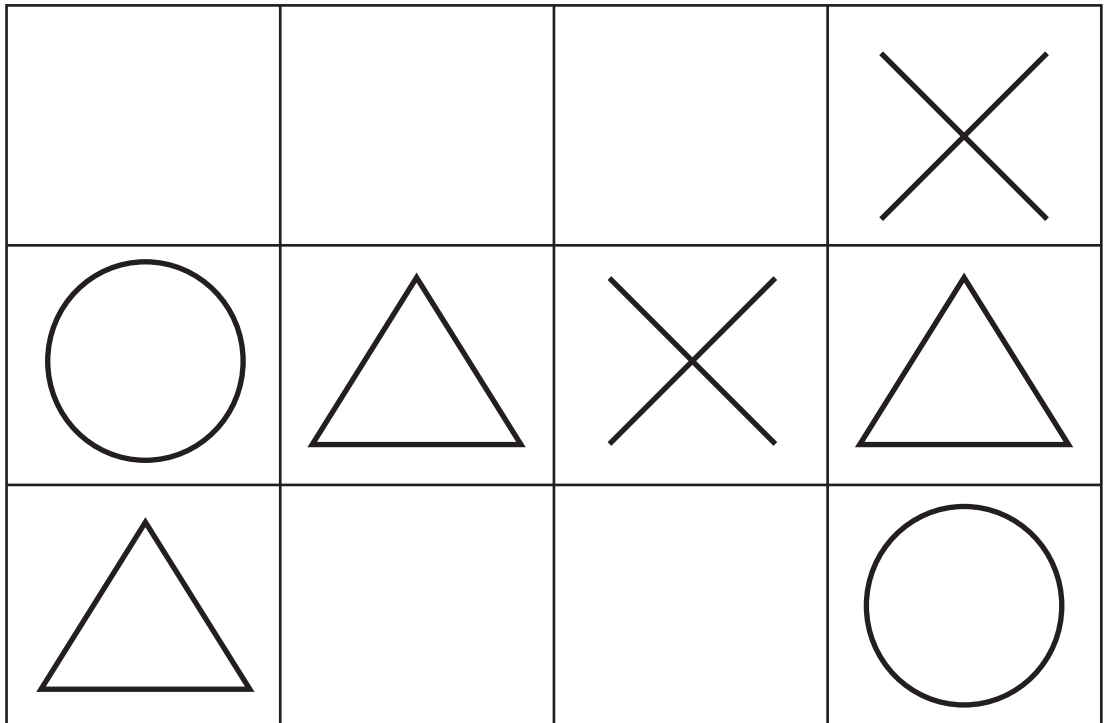
(2)



○と△と×のある場所をよく覚えて下さい。

(キリトリセンで2つに切り離して下さい。)

(1)



----- キリトリセン -----

(2)

